取扱説明書

保証書付

デジタルカメラ

品番 DSC-X1250（基本編）

準　備 ▶

基本操作 ▶

付　録 ▶

リチウムイオン電池は
リサイクルへ

この商品はリチウムイオン
電池を使用しています。
リチウムイオン電池のリサ
イクルにご協力ください。

このたびは、本製品をお買い上げいただき、ありがとうございます。
ご使用前にこの取扱説明書（保証書付）をよくお読みのうえ、正しくお使いください。
別冊の**「安全上のご注意」**は必ずお読みください。また、後々のために「保証書」とともに大切に保管してください。

● 取扱説明書、本体、定格板には色記号の表示を省略しています。
包装箱に表示している品番の(　)内の記号が色記号です。

本書の読みかた

本書は、本製品の使いかたを以下のように分類して説明しています。

準 備	撮影をするまでに、しなければならないことや、ぜひ知っておいていただきたいことを説明しています。
基本操作	撮影と再生の基本操作を説明しています。
付 録	カメラの仕様の詳細、アフターサービスについてお知りになりたい時に、お読みください。

この説明書では、次の記号でお知らせします。

ヒント	もう少し詳しい説明や、操作上の注意事項
注意!	特に注意していただきたい事項
[P]	参照ページ

操作中に疑問に感じたり故障かな?と思った時は、「取扱説明書 - 活用編」をご参照ください。
付属の CD-ROM(SANYO Software Pack)の使いかたについては、「SANYO Software Pack 取扱説明書」をご参照ください。

「取扱説明書 - 活用編」「SANYO Software Pack 取扱説明書」の見かた

❶ 付属の CD-ROM(SANYO Software Pack)をパソコンの CD-ROM ドライブに装着する

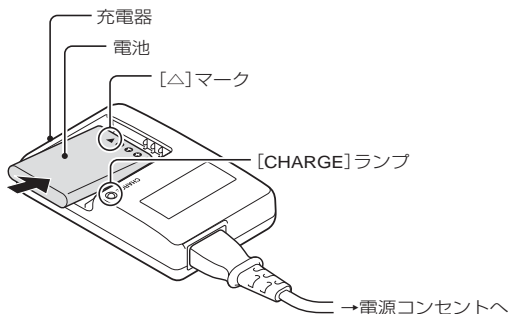
❷ Adobe Reader 9 をインストールする

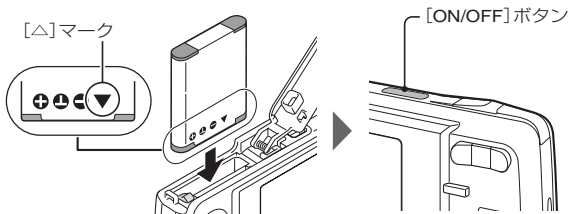
❸ インストール画面の目的のマニュアルをクリックする

撮る・見る・そして保存する

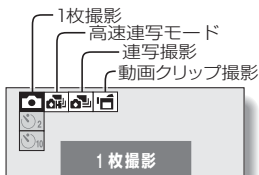
電池を装着する

1 付属の充電器で電池を充電する

- 充電中は[CHARGE]ランプが点灯します。
- 充電が終わると、[CHARGE]ランプが消灯します。
- 充電時間は、約120分です。

2 スロットカバーを開けて、電池を入れる

- スロットカバーは、カメラの底面にあります。
- [ON/OFF]ボタンを押すと、電源が入ります。

撮影する

1 方向ボタンの[▶]を押す

- 撮影モードメニューが出ます。

2 方向ボタンの [◀]/[▶] を押して撮影モードを選ぶ

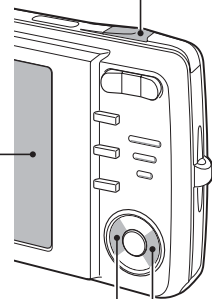
3 [SET] ボタンを押す

- 撮影モードは、モニターの左上にアイコンで表示します。

4 シャッターボタンを押す

1枚撮影の場合：
静止画を撮影します。

高速連写/連写撮影の場合：
撮影を開始します。シャッターボタンを離すと、撮影を終了します。

動画クリップ撮影の場合：
撮影を開始します。もう一度シャッターボタンを押すと、撮影を終了します。

- ：1枚撮影モード
- ：高速連写モード
- ：連写撮影モード
- ：動画クリップ撮影モード

<撮影モード>

大切な撮影をする前には試し撮りをしてください

- 万一、カメラまたはカードなどの不具合で、撮影や録音ができなかった場合の記録内容やその他の補償につきましてはご容赦ください。

再生する

静止画再生

1 再生ボタン[►]を押す

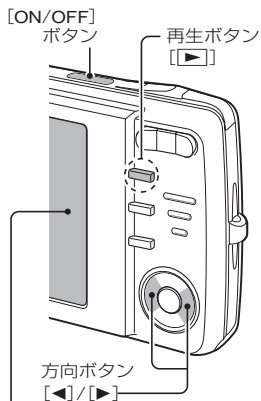
- 再生画面に切り替わります。
- 方向ボタンの[◄]/[►]を押すと、他の画像が見れます。
- 再生ボタン[►]を押すと、撮影画面に戻ります。

動画クリップ再生

1 再生ボタン[►]を押す

- 再生画面に切り替わります。
- 方向ボタンの[◄]/[►]を押して、再生する動画クリップを出してください。

2 [SET] ボタンを押す

- 動画クリップの再生を開始します。
- 再生ボタン[►]を押すと、撮影画面になります。

＜例：動画クリップ撮影後＞

使い終わったら‥

[ON/OFF]ボタンを押して電源を切ってください。

撮る・見る・そして保存する(つづき)

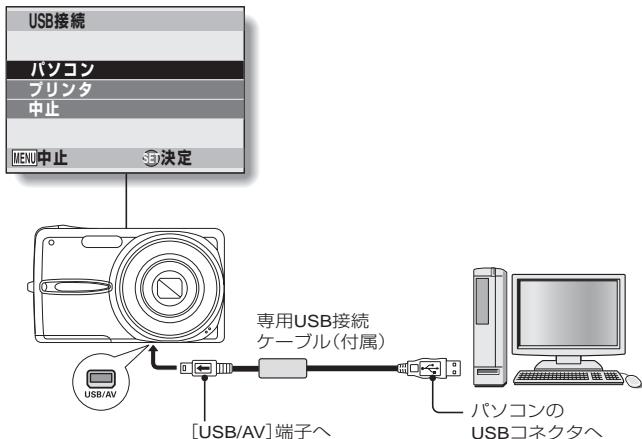
パソコンにファイルをコピーする(Windows XPの場合)

1 ソフトをインストールする

❶ 付属のCD-ROM(SANYO Software Pack)をパソコンにセットする
- インストール画面が出ます。

❷インストール画面の[ArcSoft MediaImpression 2]をクリックする
- パソコンの画面に表示されるメッセージに従って、インストールしてください。

2 付属の専用 USB 接続ケーブルでカメラをパソコンに接続する

- カメラの[USB/AV]端子とパソコンのUSBコネクタを接続します。
- カメラのモニターにUSB接続画面が出ます。

3 [パソコン] を選び、[SET] ボタンを押す

- 接続モードを選択する画面が出ます。

4 [カードリーダー] を選び、[SET] ボタンを押す

- カードリーダーモードでカメラを接続しました。
- パソコンの画面にWindowsの自動再生画面が出た場合は、自動再生画面を閉じてください。

5 デスクトップの [MediaImpression 2] アイコンをダブルクリックし、MediaImpression 2を起動する

- MediaImpression 2の初期画面が出ます。

[インポート]

6 [インポート] をクリックする

● インポート画面に、カメラ内のファイルが出ます。

ファイルのコピー先を指定することができます

- [インポート先]欄のフォルダアイコンをクリックすると、コピー先を指定する画面が出ます。
- [サブフォルダ名]欄は、[○今日の日付]をクリックして選択することをお勧めします。[○今日の日付]を選択すると、[インポート先]欄で指定したフォルダに日付を名前にしたサブフォルダを自動的に作成し、その中にファイルをコピーします。

7 [インポート] をクリックする

- カメラ内のファイルをパソコンにコピーします。

8 コピーが終わったら、[終了] をクリックする

- MediaImpression 2の初期画面に戻ります。

9 クローズボタンをクリックしてMediaImpression 2 を終了する

もっとMediaImpression 2を知りたい方は

- MediaImpression 2の初期画面にある[サービスとサポート]をクリックし、必要な情報を入手してください。

カメラの取りはずし

注意!

- カメラの取りはずしは、必ず以下の操作で行ってください。この操作を行わずに取りはずすと、パソコンが誤動作したり、カードのデータが破損する場合があります。

1 [ハードウェアの安全な取り外し] アイコンを左クリックする

- パソコンのUSBコネクタに接続している機器の一覧が出ます。

<Windows Vistaの場合>
- ウィンドウを閉じてください。

2 カメラのドライブ(E:)を左クリックする

- カメラを取りはずすことができる状態になります。
  ※ドライブ名(E:)は、お使いのパソコンの環境によって異なります。

注意!

ケーブルの抜き差しは、ていねいに

- 接続するときは、プラグの向きとコネクタの形状をよく確認し、まっすぐに接続してください。無理に接続すると、端子を破損するおそれがあります。
- ケーブルを強く引っ張ると、ケーブルやコネクタ部を破損するおそれがあります。
- 専用USB接続ケーブルは、パソコンのUSBコネクタに接続してください。モニターやキーボードのUSBコネクタ、USBハブには接続しないでください。ドライバソフトウェアをインストールする時は、特にご注意ください。ドライバソフトウェアが正常にインストールできない場合があります。

内蔵メモリーのデータにアクセスする場合は?

- カメラのカードを取りはずしてください。

もくじ

もくじ 1
付属品を確認する 3
ハンドストラップの付けかた 4
別売品 5
このカメラで使えるカードについて 6
カードの表記について 6

■準備

各部の名前 7
電池を充電する 9
電池の充電について 10
電池とカードをセットする 13
セットのしかた 13
カードをフォーマットするには 15
温度上昇についてご注意 16
電源を入れる／切る 17
電源の入れかた 17
電源の切りかた 17
オートパワーオフ機能について 18
日付･時刻を設定する 19

■基本操作

撮影の前に 22
撮影/再生モードを切り替える 22
撮影モードを切り替える 23
表示モードを切り替える 24
モニターの明るさを設定する 25
撮影のヒント 26
静止画撮影・再生をする 27
1枚撮影をする 27
連写撮影をする 29
静止画像を再生する 31
9画面/20画面マルチ再生をする 32
フォルダを選んで再生する 33
拡大（ズーム）表示をする 34

ズームジャンプ再生をする........................35
ファイルを消去する........................36
動画クリップ撮影・再生をする........................38
動画クリップ撮影をする........................38
動画クリップ再生をする........................39
シーン機能を使う........................42
音声付き静止画撮影をする........................44
ベストショット撮影のしかた........................45
フェイスチェイサー撮影のしかた........................46
スマイルディテクション(笑顔シャッター)撮影のしかた........................47
その他の撮影機能........................49
ズーム撮影をする........................49
フラッシュを設定する........................51
セルフタイマーを設定する........................53
フォーカスレンジを設定する........................55
メニューを出す........................58
メニューの出しかた........................58
メニューの操作方法........................59

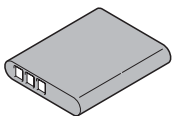
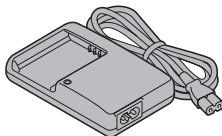
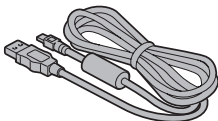
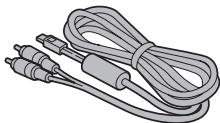
■付録

仕　様........................60
カメラの仕様........................60
カメラ各端子の仕様........................63
電池寿命........................63
撮影可能枚数/撮影可能時間/録音可能時間........................64
付属の充電器の仕様........................65
付属のリチウムイオン電池の仕様........................65
その他........................66
大切な撮影をする前には試し撮りをしてください........................66
お客さまご相談窓口........................68
アフターサービスについて........................75
お客さまメモ........................77
無料修理規定........................78

付属品を確認する

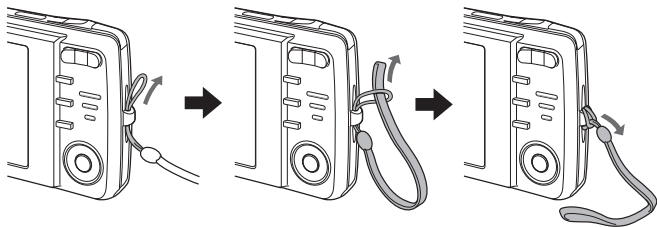
●ハンドストラップ：1本

●CD-ROM
（SANYO Software Pack）：1枚

●リチウムイオン電池：1個

●充電器と電源コード

●専用USB接続ケーブル：1本

●専用AV接続ケーブル：1本

●安全上のご注意（安全注意説明書）
※必ずお読みください。

●かんたん操作ガイド

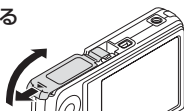
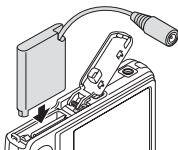
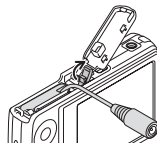
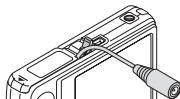
●取扱説明書/保証書
- 取扱説明書（本書）の裏表紙が保証書になっておりますので、大切に保管してください。

ハンドストラップの付けかた

付属品を確認する（つづき）

別売品

- **リチウムイオン電池(品番：DB-L80)**
  付属品と同じ、リチウムイオン電池です。
- **リチウムイオン電池充電器(品番：VAR-L80)**
  付属品と同じ、リチウムイオン充電器です。
- **ACアダプタ(品番：VAR-G9)**
  本機に接続できる専用のACアダプターです。
- **DCアダプタ(品番：VAR-A3)**
  カメラの電池スロットに取り付けて、ACアダプタを接続します。
  ACアダプターと併用してください。

取り付けかた

1 カメラのスロットカバーを開ける

2 DCアダプターを電池スロットに挿入する
- DCアダプターの向きに注意し奥までしっかりと入れてください。

3 スロットカバーを閉じる

4 ACアダプターを接続する

取りはずしかた

1 カメラの電源を切る

2 ACアダプターをはずす

3 カメラのスロットカバーを開け、DCアダプターを取りはずす

このカメラで使えるカードについて

このカメラに装着し、使用できるカードは以下のとおりです。

- **SDメモリーカード**
- **SDHCメモリーカード**

カードの表記について

- 本書では、このカメラで使用できるSDメモリーカードやSDHCメモリーカードを「カード」と表記します。

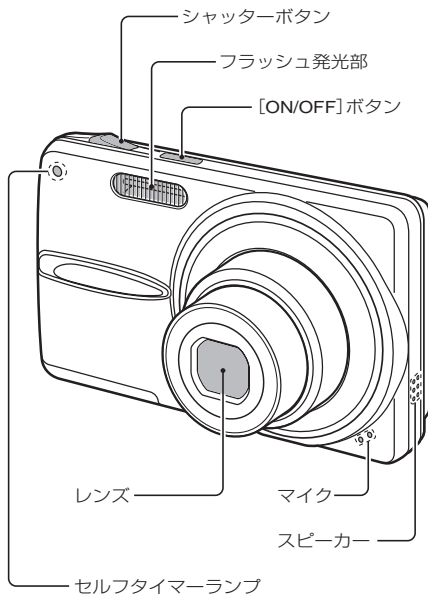
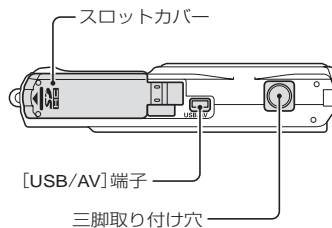
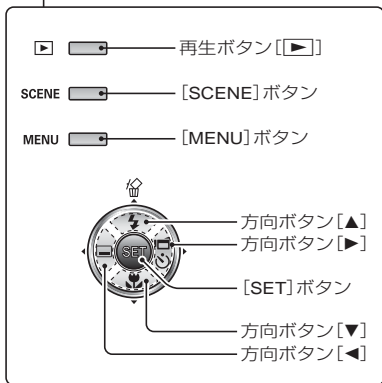
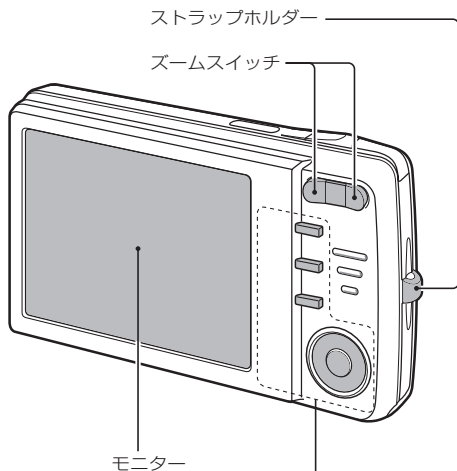
各部の名前

前面

シャッターボタン
フラッシュ発光部
［ON/OFF］ボタン
レンズ
マイク
スピーカー
セルフタイマーランプ

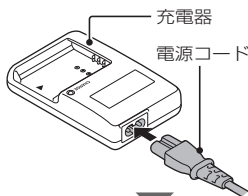
底面

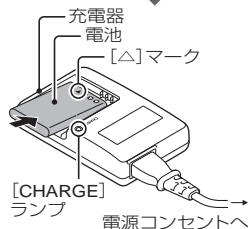
後面

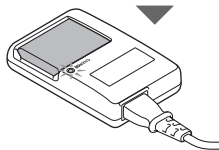
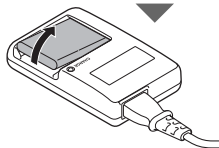
ストラップホルダー
ズームスイッチ
モニター
再生ボタン[▶]
SCENE
[SCENE]ボタン
MENU
[MENU]ボタン
方向ボタン[▲]
方向ボタン[▶]
SET
[SET]ボタン
方向ボタン[▼]
方向ボタン[◀]

電池を充電する

付属の電池を充電します。

1 付属の電源コードを充電器の電源ソケットに差し込む

- まっすぐ確実に差し込んでください。

2 電池を充電器の電池取り付け部に装着する

- 電池の[△]マークの方向に取り付けます。

3 電源プラグを電源コンセント(AC100V)に差し込む

- 充電が始まります。
- 充電中、[CHARGE]ランプは点灯します。

4 [CHARGE]ランプが消灯したら、電源プラグを電源コンセントから抜き、電池を充電器から取りはずす

- 充電時間は約120分です。

電池の充電について

付属または別売の電池は、ご使用の前に必ず充電してください。
電池の充電には、付属の充電器を使います。
電池を初めて使う場合や、電池残量が少なくなったときは、充電してください。

電池が熱い？

● 充電中、充電器や電池が温かくなることがありますが、異常ではありません。

充電中、テレビやラジオに雑音が入るときは？

● テレビやラジオから離れた場所で充電してください。

充電時の周囲温度について

● 充電時の周囲温度は、約10℃～35℃に保たれていることをおすすめします。約0℃以下では、電池の特性により、十分に充電ができない場合があります。
● 電池が高温になると、保護機能が働いて充電を停止することがあります。

次のような電池も充電してから使用してください

● 長期間使用していない電池
● 新しい電池の使い始め

充電式電池のリサイクルにご協力を

Li-ion 00

ご使用済みの充電式電池は、貴重な資源です。再利用しますので廃棄しないで⊕端子にテープ等をはり付けて絶縁してから充電式電池リサイクル協力店にお渡しください。

電池を充電する（つづき）

[CHARGE] ランプについて

電池と充電器の状態は、[CHARGE] ランプで確認できます。異常は点滅表示でお知らせしますので、下記にしたがって点検・操作してください。

CHARGEランプ	消　灯	**正しく接続できていない** ●充電するときは、電源コードの電源プラグを電源コンセントに、一方のプラグを充電器の電源ソケットに差し込む[P9]。 ●電池を装着していない。または電池を正しく装着していない[P9]。 充電終了
	点　灯	充電中
	点　滅	**電池または充電器の異常** ●すぐに電池を取りはずしてください。 ●異常な電池は使用しないでください。（電池の寿命が尽きたと考えられます。）

注意!

長時間使用した直後に充電しない

●カメラを長時間使用した直後は電池が熱くなっています。この状態で充電しようとすると、保護機能が働いて充電できない場合があります。長時間使用した後は、電池の温度が下がってから充電してください。

電池が膨らんだ？

●本製品に使われているリチウムイオン電池は、高温環境での保存や繰り返しの使用によって電池が少し膨らむことがありますが、安全上の問題はありません。

内蔵バックアップ用電池について

●本機は、日付・時刻や撮影の設定など、カメラの設定を保持しておくための電池を内蔵しています。この電池を充電するため、電池は約2日間装着した状態にしてください。内蔵バックアップ用電池は、満充電状態で約7日間、カメラの設定を保持します。

長期間使用しないときは電池を取りはずす

●電池は、電源が切れている状態でもわずかずつ消耗しますので、本機を長期間使用しないときは電池を取りはずしておくことをおすすめします。ただし電池を取りはずすと、日付・時刻や他の設定をしている場合は設定をクリアする場合がありますので、ご使用の前にカメラの設定を確認してください。

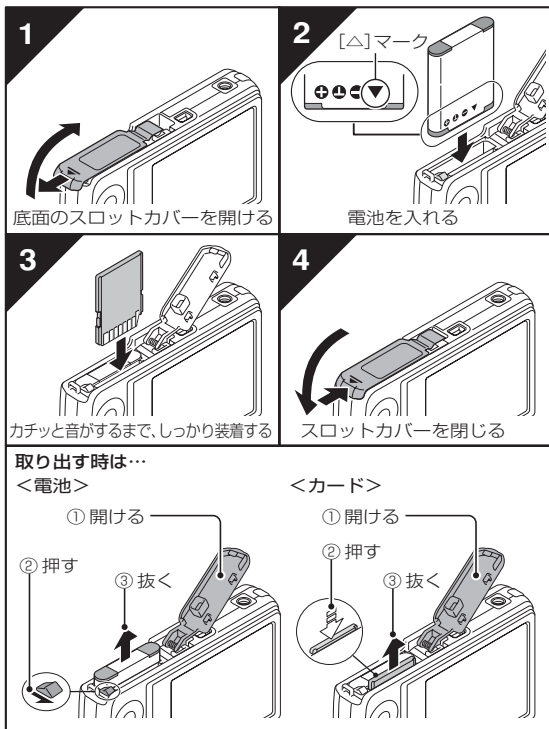
電池を長く快適にお使いいただくために

●電池は消耗品ですが、以下のような事がらに配慮して使うことで、より長い期間ご使用いただくことができます。
 ・夏場の炎天下など高温環境下に放置しない。
 ・満充電の状態で繰り返して充電をしない。満充電した後は、ある程度使ってから充電する。
 ・長期間使用しない場合、できるだけ満充電状態は避け、冷暗所に保管する。

電池とカードをセットする

セットのしかた

- 電池やカードは、向きに注意して入れてください。
- カードは、本機で初期化(フォーマット)してからご使用ください。

注意!

電池の外装やラベルははがさない

- 電池の外装やラベルをはがして使用しないでください。機器故障の原因となります。

カードの取り出しにご注意

- カードは無理に抜かないでください。
- パソコンやプリンタに接続していて、セルフタイマーランプが速い周期で点滅している時は、絶対にカードを取り出さないでください。カード内のデータを破損するおそれがあります。

カードの着脱が完全に終わるまでカードから指を離さない

- カードを完全に着脱する前にカードから指を離すと、カードが勢いよく飛び出し、カードの紛失やカードが目に当たってけがをする場合があります。

カードがなくても撮影できます

- カードを装着するとカードで撮影/再生ができ、カードを装着しない場合は内蔵メモリーで撮影/再生ができます。また、カードを装着しないで電源を入れると、モニターに内蔵メモリーアイコン INT が出ます。

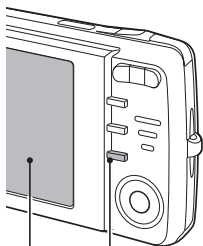
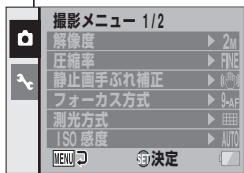
カードをフォーマットするには

1 カメラにカードをセットし、電源を入れる[P13・17]

2 メニューを出す[P58]

3 オプションメニューを出す[P59]

4 [フォーマット]を選び、[SET]ボタンを押す

- フォーマット画面が出ますので、表示に従って、カードをフォーマットしてください。

温度上昇についてご注意

- カメラにセットした電池の温度が上昇すると、温度警告アイコン [icon] が液晶モニターで点滅します。温度警告アイコンが点滅した場合は、できるだけ早くカメラの電源を切り、電池の温度が下がるのを待ってから使用を再開してください。
- 電池の温度が高いまま使用を続けると、自動的にカメラの電源が切れますので、ご注意ください。

電源を入れる／切る

電源の入れかた

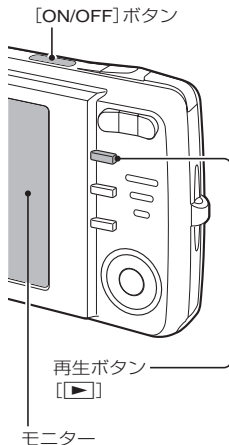
撮影をする場合

1 **[ON/OFF]ボタンを押す**

- 電源が入ります。
- 電源を入れると、前回に電源を切った時の撮影モードになります。

再生をする場合

1 **再生ボタン[►]を約1秒以上押す**

- モニターに再生画面が出ます[P31・39]。

電源の切りかた

1 **[ON/OFF]ボタンを押す**

- 電源が切れます。

<再生ボタン[►]を押して電源を入れた場合は>

- 再生ボタン[►]または[ON/OFF]ボタンを押すと、電源が切れます。

オートパワーオフ機能について

電源の切り忘れなどによる電池の消耗を防ぐため、電源が入った状態で操作を行わないまま放置(撮影時:約 1 分間、再生時:約 3 分間(工場出荷時の設定))すると、自動的に電源が切れる「オートパワーオフ機能」が備わっています。

- オートパワーオフ機能が働いて電源が切れた場合は、[ON/OFF]ボタンを押して電源を入れてください。
- 電源が切れるまでの時間は、変更することができます。
- 専用USB接続ケーブルでカメラとパソコンまたはプリンタを接続している場合はオートパワーオフ機能が働かず、約12時間後に電源が切れます。

アイコンが出る?

- このカメラは、撮影時に撮影年月日を撮影画像に記録する機能を持っています。日付·時刻の設定[P19]を行っていないと、撮影画像に撮影年月日を記録できないため、アイコンが出ます。撮影画像に撮影年月日を記録する場合は、撮影の前に日付時刻の設定を行ってください。

日付・時刻を設定する

このカメラは撮影／録音時の日付・時刻を記録し、再生時に表示する時計機能を内蔵しています。撮影前には、日付・時刻が正しく設定できているか、確認してください。
※日付・時刻の修正方法は、21 ページの「ヒント」を参照してください。

[例]：2010年12月24日午後7時30分に合わせる場合

1 電源を入れ[P17]、[SET]ボタンを押す

- 日付時刻設定画面が出ます。
- 再生時の撮影日表示、日付表示順序・日付・時刻合わせなどを設定するときは、以降の操作をしてください。
- 撮影または再生画面にするには、[MENU]ボタンを2回押してください。

2 日付を設定する

❶[日付]を選ぶ

❷[SET]ボタンを押す
・日付設定画面が出ます。

❸日付を「2010年12月24日」に合わせる
・「年」設定→「月」設定→「日」設定の順に合わせます。

方向ボタンの[◄]/[►]を押す：「年」、「月」、「日」が選べます。
方向ボタンの[▲]/[▼]を押す：数値が増減します。

❹[SET]ボタンを押す

3 時計を設定する

❶[時刻]を選ぶ

❷[SET]ボタンを押す
・時刻設定画面が出ます。

❸時計を「19時30分」に合わせる
・「時」設定→「分」設定の順に合わせます。
・「時」は24時間表示です。

❹[SET]ボタンを押す

4 再生時の日付表示順序を設定する

❶[表示]を選ぶ

❷[SET]ボタンを押す
・日付表示順序を設定する画面が出ます。

❸方向ボタンの[▲]/[▼]を押す
・[▲]を押すと、日付表示順序が以下のように変わります。

→年/月/日→月/日/年→日/月/年

[▼]を押すと、逆に切り替わります。

❹[SET]ボタンを押す

日付・時刻を設定する(つづき)

5 [MENU]ボタンを押す

- 日付・時刻の設定が終わりました。
- 撮影または再生画面にするには、[MENU]ボタンを押してください。

設定のバックアップについて

- このカメラは電池を交換するときに内部時計をバックアップしますが、電池の使用時間によっては、日付・時刻の設定をクリアする場合があります（バックアップ時間は最長で約7日間）。電池交換後や撮影前は念のため、時計表示を確認されることをおすすめします(操作1)。

日付・時刻を修正するには

①電源を入れ、[MENU]ボタンを押す
②オプションタブ[🔧]を選び、[SET]ボタンを押す
③[日付時刻]を選び、[SET]ボタンを押す
・日付時刻設定画面が出ます。
・この状態で、現在の設定内容が確認できます。
④修正する行を選び、表示を修正する

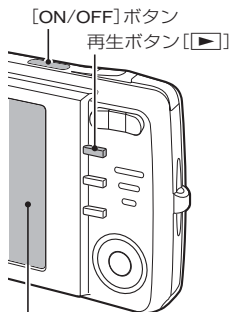
撮影の前に

撮影/再生モードを切り替える

撮影をする撮影モードと、撮影した画像を再生する再生モードを切り替えます。

1 [ON/OFF]ボタンを押して電源を入れる

2 再生ボタン[▶]を押す

- 再生ボタンを押すたびに、撮影モードと再生モードが切り替わります。

<撮影モード>

<再生モード>

再生モードで電源を入れるには

- 再生ボタン[▶]を約1秒以上押すと、再生モードで電源が入ります。

撮影モードを切り替える

このカメラには 1 枚の静止画を撮影する「1 枚撮影モード」と動画クリップを撮影する「動画クリップ撮影モード」、静止画を連続撮影する「連写撮影モード」があります。

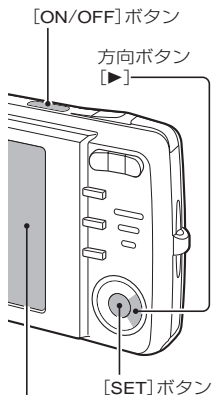
1 [ON/OFF]ボタンを押して電源を入れる

2 方向ボタンの[►]を押す

- 撮影モードとセルフタイマーを設定する画面が出ます。

3 方向ボタンの[►]を押して撮影モードを選ぶ

4 [SET]ボタンを押す

- 撮影モードを設定しました。
- 撮影モードの設定は、モニター左上にアイコンで表示します。

＜撮影モード＞

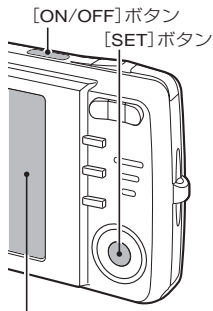
- ：1枚撮影モード
- ：高速連写モード
- ：連写撮影モード
- ：動画クリップ撮影モード

表示モードを切り替える

撮影モードのモニター表示には、撮影の設定状態を確認しながら撮影できる「設定表示モード」と、被写体がよく見えるように撮影の設定状態を表示しない「ノーマル表示モード」があります。

1 [ON/OFF]ボタンを押して、電源を入れる

2 [SET]ボタンを押す

- [SET]ボタンを押すたびに、設定表示モードとノーマル表示モードが切り替わります。

<設定表示モード>

<ノーマル表示モード>

撮影の前に（つづき）

モニターの明るさを設定する

モニターの明るさを変えることができます。周囲の明るさに合わせて、見やすい明るさに設定してください。

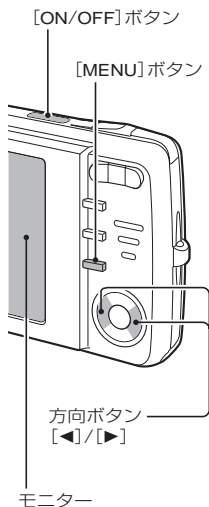
1 [ON/OFF]ボタンを押して、電源を入れる

2 [MENU]ボタンを約1秒以上押す

- モニター明るさメニューが出ます。

3 方向ボタンの[◀]/[▶]を押して、明るさを設定する

4 [MENU]ボタンを押す

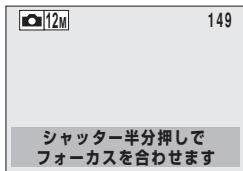
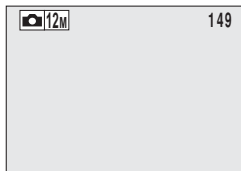
- モニターの明るさを設定して、モニター明るさ画面が消えます。

- オプションメニューの[モニター明るさ]を選んでも、モニターの明るさを設定することができます。

撮影のヒント

カメラから出る音を消したい
- シャッターボタンや[MENU]ボタン、[SET]ボタンなどを押した時に鳴る音を消すことができます。

撮影した画像の保存先は？
- すべて、内蔵メモリーまたはカメラに装着したカードに保存します。
- カードを装着している場合はカードに、カードを装着していない場合は内蔵メモリーに保存します。

逆光で撮影すると…
- 逆光で撮影した時は、CCDの特性上、光の筋(スミア)やゴースト模様（フレア現象)が現れることがあります。このような時は、逆光を避けて撮影してください。

ガイド表示をON/OFFする
- 方向ボタンの[◀]を押してください。方向ボタンの[◀]を押すたびに、ガイド表示のON/OFFが切り替わります。

＜ガイド表示ON＞　＜ガイド表示OFF＞

ヒント
- 静止画像は、再生時に回転することができます。
- 光学ズーム使用時やオートフォーカス動作中に、画面が揺れる場合がありますが、故障ではありません。

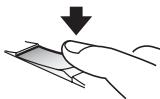
静止画撮影・再生をする

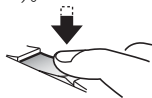
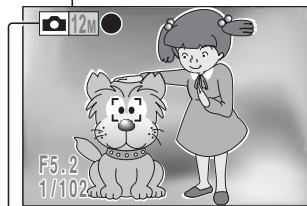
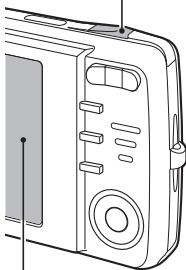
静止画撮影の機能には、1 度シャッターボタンを押すと 1 枚の静止画像が撮影できる 1 枚撮影と 1 度シャッターボタンを押すと連続して静止画像が撮影できる連写撮影があります。連写撮影については、29 ページを参照してください。

1枚撮影をする

1 1枚撮影モードにする [P23]

2 シャッターボタンに指を乗せる

- シャッターボタンを半分だけ押すと、オートフォーカスが働いてピント合わせを行います（フォーカスロック）。

3 シャッターボタンを静かに押す

- シャッターボタンは、カメラがぶれないよう静かに押し込んでください。
- シャッターボタンを押している間、撮影した瞬間の画像がモニターに出ます（ポストビュー）。

＜1 枚撮影画面＞

4 シャッターボタンから指を離す

● 撮影した画像を保存します。

ターゲットマークについて

● ピントが合った位置には、ターゲットマーク⌜⌟が出ます。

● ピントを合わせる位置は、撮影範囲の9箇所のフォーカスポイントからカメラが自動的に判断します。ターゲットマークが、目的でない位置に出た場合は、カメラアングルを変更するなどして、ピントを合わせ直してください。

● 画面中央の広い範囲にピントが合った場合は､大きなターゲットマークが出ます。

ピントシグナルについて

● ピントが合うと緑色、ピントが合っていない場合は赤色で点灯します。

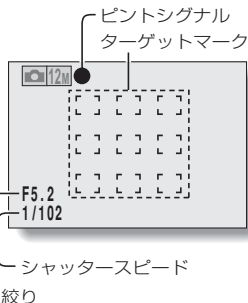
シャッタースピードと絞り値が出ます

● モニターにはシャッタースピードと絞り値が出ます。撮影の参考にしてください。

手ぶれ警告アイコンが出たら？

● 静止画撮影時、シャッタースピードが遅くなり手ぶれの可能性が高くなると、モニターに手ぶれ警告アイコンが出ます。このような時は、三脚でカメラを固定して撮影時にカメラがぶれないようにするか、フラッシュ動作モードを自動発光[P51]に設定してください。

● シーン機能の花火[花火アイコン]撮影時、常に手ぶれアイコンが出ますが、異常ではありません。

基本操作

静止画撮影・再生をする

連写撮影をする

シャッターボタンを押すと、連続して静止画が撮影できます。

1 連写撮影または高速連写モードにする[P23]

：連写撮影アイコン
：高速連写アイコン

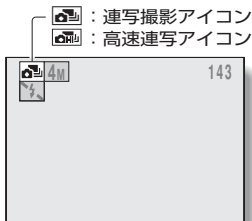
4M 143

2 シャッターボタンを押して、撮影する

● 連続撮影を開始します。

■最大連写撮影枚数のめやす

＜連写撮影モード＞

解像度	最大撮影枚数
12M	約3枚
9M	約4枚
6M	約7枚
4M	約11枚
2M	約22枚
0.3M	約121枚

＜高速連写モード＞

解像度	最大撮影枚数
4M	約25枚

※圧縮率をFINEに設定した場合の枚数です。
※最大連写枚数は、被写体によって異なります。
● 連写中にシャッターボタンを離すと、途中で撮影を終了します。

連写撮影時のピント合わせについて

- 連写撮影では、オートフォーカス機能はフォーカスロックした時に働き、ピントを固定します。

セルフタイマーやフラッシュ撮影はできる？

- 連写撮影時に、セルフタイマーやフラッシュは使えません。
- 以下のシーン機能は設定できません。

静止画撮影・再生をする(つづき)

静止画像を再生する

1 枚撮影した画像も連写撮影した画像も、再生方法は同じです。

1 再生ボタン[▶]を押す

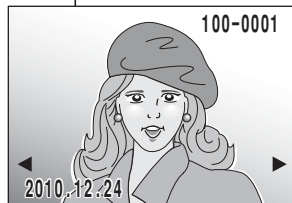
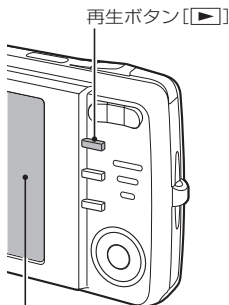
- 再生ボタン[▶]を押して電源を入れる場合は、再生ボタン[▶]を1秒以上押してください。
- 先ほど撮影した静止画が、モニターに出ます。

2 他の画像を出す

- 方向ボタンの[◀]/[▶]を押すと、前後に撮影した画像が出ます。

  前の画像を出す：[◀]を押す
  後の画像を出す：[▶]を押す
- 再生ボタン[▶]を押すと、撮影画面になります。

<再生ボタン[▶]を押して電源を入れた場合は>

- 再生ボタン[▶]または[ON/OFF]ボタンを押すと、電源が切れます。

操作が終わったら

- [ON/OFF]ボタンを押して電源を切ってください。

音声メモ[P43・44]を付けた静止画は？

- シャッターボタンを押すと、音声メモを再生します。

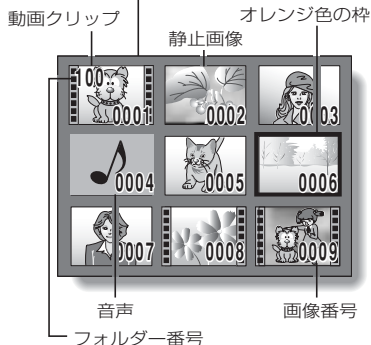
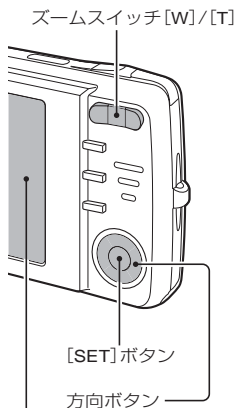
9画面/20画面マルチ再生をする

1 再生ボタン[▶]を押す

2 ズームスイッチの[W]([▦])を押す

- 9画面マルチ再生表示になります。

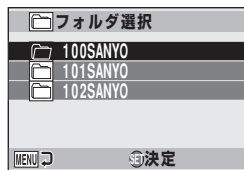
3 再生する

- 方向ボタンを押し、再生する画像にオレンジ色の枠を合わせ、[SET]ボタンを押してください。
  [SET]ボタンの代わりに、ズームスイッチの[T]([🔍])を押しても、再生できます。
- 9画面マルチ再生表示の状態で方向ボタンの[W/▦]を押すと、20画面マルチ再生表示になります。

フォルダを選んで再生する

複数のフォルダの中から目的の画像を探したり、スクリーンキャプチャーで記録した画像を探す場合に便利です。

1 9画面マルチ再生をする[P32]

2 方向ボタンの[W/]を2回押す

- 再生するフォルダを選択する画面が出ます。
- 方向ボタンの[T/]を押すと、20画面マルチ再生[P32]になります。

3 再生するフォルダを選び、[SET]ボタンを押す

- 選んだフォルダの画像が出ます。
- この状態でズームスイッチの[W]( )を押すと、選んだフォルダの画像を9画面マルチ表示します。

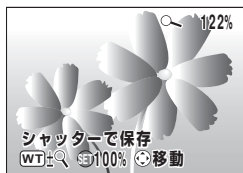
拡大(ズーム)表示をする

1 拡大表示する画像を表示する

2 ズームスイッチの[T]([ ])を押す

- 拡大表示画面になります。
- 画像の中央部分を中心に、拡大表示します。
- 方向ボタンを押すと、表示部分が移動できます。

  拡大する：ズームスイッチの[T]([ ])を押すごとに倍率が上がります。

  元に戻す：ズームスイッチの[W]([ ])を押すごとに倍率が下がります。
- [SET]ボタンを押すと、通常表示(100%)の画面に戻ります。

拡大した画像が保存できます

- 拡大表示している時にシャッターボタンを押すと、拡大表示状態の画像を静止画として保存できます。

ズームジャンプ再生をする

静止画の部分を指定して拡大表示し、ピントが合っているかを確認することができます。

1 ズームジャンプ再生する静止画を表示する

2 [SET]ボタンを押す

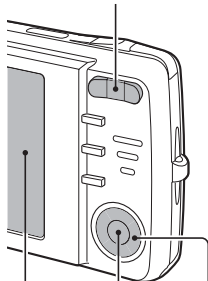
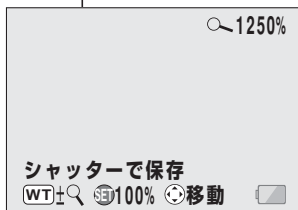
- 画像を拡大表示します。
- この状態でピンボケになっていなければ、およそのピントは合っています。

3 方向ボタンを押して拡大する部分を表示して、ズームスイッチの[T]（[ ]）を押す

- 表示していた部分をさらに大きく表示します。

拡大する：ズームスイッチの[T]（[ ]）を押すごとに倍率が上がります。

元に戻す：ズームスイッチの[W]（[ ]）を押すごとに倍率が下がります。

- [SET]ボタンを押すと、通常表示（100%）の画面に戻ります。

ファイルを消去する

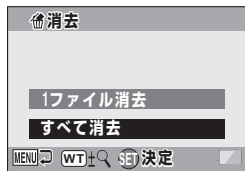
ファイルの消去方法には、選んだファイルを1つずつ消去する方法と、すべてのファイルを一括して消去する方法があります。

1 カードのファイルを消去する場合はカードを装着し、内蔵メモリーのファイルを消去する場合はカードを取り出す

2 再生モードにし、方向ボタンの[▲]を押す

- 消去方法を選ぶ画面が出ます。

[1ファイル消去]：
表示しているファイルを消去します。

[すべて消去]：
すべてのファイルを消去します。

3 ファイルを消去する

<1ファイル消去する場合>

❶方向ボタンの[◀]/[▶]を押して、消去するファイルを表示する

❷方向ボタンの[▲]/[▼]を押して、[1ファイル消去]を選ぶ
- 1ファイルずつ消去する場合、消去確認画面が出ません。操作❸で[SET]ボタンを押す前に、よくファイルを確認してください。

❸[SET]ボタンを押す
- 表示中のファイルを消去します。
- 続けてファイルを消去する場合は、操作❶～❸を行ってください。

<すべて消去する場合>

❶方向ボタンの[◀]/[▶]を押して、すべて消去しても良いかを確認する

❷方向ボタンの[▲]/[▼]を押して、[すべて消去]を選ぶ

❸[SET]ボタンを押す
　・消去を確認する画面が出ます。消去しても良ければ[はい]を選んで[SET]ボタンを押してください。消去が終わると、[画像がありません]表示が出ます。

注意!

プロテクトがかかっている画像は?

- プロテクトがかかっている画像は、消去できません。消去する場合は、プロテクトを解除してから消去してください。

動画クリップ撮影・再生をする

動画クリップ撮影をする

1 動画クリップ撮影モードにする[P23]

2 シャッターボタンを押す

- 動画クリップ撮影を開始します。撮影中はモニターに撮影時間と撮影可能時間が出ます。
- 撮影中、シャッターボタンを押し続ける必要はありません。

3 撮影を終了する

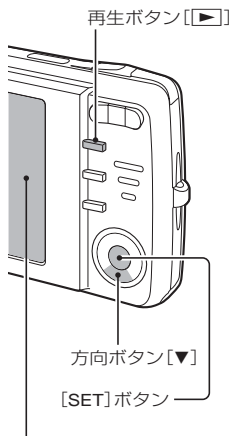
- 動画クリップ撮影中にシャッターボタンを押すと、動画クリップ撮影を終了し、画像を保存します。

動画クリップ再生をする

4 再生ボタン[►]を押す

- 再生ボタン[►]を押して電源を入れる場合は、再生ボタン[►]を1秒以上押してください。
- 先ほど撮影した動画クリップが、モニターに出ます。

5 [SET]ボタンを押す

- 動画クリップの再生を開始します。
- 方向ボタンの[▼]を押すと、再生を中止します。

再生操作一覧

こうするには		こうします
再生中止		再生中に方向ボタンの[▼]を押す
一時停止		再生中に[SET]ボタンを押す 倍速/スロー再生中は方向ボタンの[▲]を押す
静止画抜き出し		一時停止中にシャッターボタンを押す
コマ送り再生	順方向	一時停止中に、方向ボタンの[▶]を押す
	逆方向	一時停止中に、方向ボタンの[◀]を押す
スロー再生	順方向	一時停止中に、方向ボタンの[▶]を押し続ける
	逆方向	一時停止中に、方向ボタンの[◀]を押し続ける
倍速再生	順方向	順方向再生中に方向ボタンの[▶]を押す ※方向ボタンの[▶]を押すたびに、再生速度が以下のように変わります。 通常速度→2倍速→5倍速→10倍速→15倍速 方向ボタンの[◀]を押すと、再生速度が元に戻ります。
	逆方向	順方向再生中に方向ボタンの[◀]を押す ※方向ボタンの[◀]を押すたびに、再生速度が以下のように変わります。 15倍速←10倍速←5倍速 方向ボタンの[▶]を押すと、再生速度が元に戻ります。
通常再生に戻す		[SET]ボタンを押す
音量調整		**大きくする**：再生中にズームスイッチの[T]を押す **小さくする**：再生中にズームスイッチの[W]を押す

操作が終わったら

- [ON/OFF]ボタンを押して電源を切ってください。

注意!

動画クリップ中の1コマを静止画にするには

①動画クリップを再生し、静止画にしたい位置で一時停止する
②シャッターボタンを押す
- 表示中の画像を静止画として保存できます。

動画クリップは、データ量が多くなります

- 撮影したデータをパソコンにダウンロードして再生した時、ご使用になるパソコンによっては、画像処理能力が追いつかない場合があります。このため、再生画像がスムーズに動かないなどの現象になります(カメラのモニターでは、正常に再生できます)。

カード残量があるのに動画クリップ撮影が止まった?

- お使いのカードによっては、カードに残量があっても撮影を終了する場合があります。
- 動画クリップ撮影をする場合は、なるべく書き込み速度が速いカードをお使いください。

音声が出ない?

- コマ送り、スロー再生、倍速再生および逆方向再生時、音声は再生しません。

動画クリップ再生時に動作音がする?

- 撮影時に光学ズームの動作音やオートフォーカスの動作音を録音したもので、故障ではありません。

音量調整したら動画クリップ再生が止まった?

- 動画クリップ再生中に音量調整をすると、動画クリップの再生が一時停止することがありますが、故障ではありません。

シーン機能を使う

撮影条件に応じたさまざまな設定(絞りやシャッタースピードなど)を登録済みの設定から選んで撮影することができます。

1 撮影モードにし[P22]、[SCENE]ボタンを押す

[P22]

- シーン機能を選ぶ画面が出ます。

オート

AUTO

自動設定で撮影します

＜例：1枚撮影モード＞

2 方向ボタンを押して機能を選ぶ

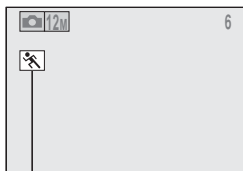
＜各機能の特徴＞

シーン機能	特　徴	撮影モード設定			
AUTO オート	カメラが最適な状態に設定します。	○	○	○	○
スポーツ	動きの速い被写体の一瞬を捉えることができます。	○	○	○	○
ポートレート	背景をぼかして、人物を引き立てた雰囲気のある撮影ができます(顔検出機能付き)。	○*	○*	○*	○*
風景	遠くの風景がきれいに撮影できます。	○	×	×	○
夜景ポートレート	バックの夜景を活かしながら、人物の撮影ができます。	○	×	×	○
スマイルディテクション(笑顔シャッター)	被写体の表情が笑顔になった瞬間を撮影します。	○	×	×	×
花火	打ち上げ花火を撮影します。	○	×	×	○

シーン機能	特　徴	撮影モード設定			
		[静止画]	[高速連写]	[連写]	[動画]
ランプ	小さな光だけで撮影します。	○	×	×	○
音声付静止画	1枚の静止画を撮影し、音声メモを付けます。	○	×	×	×
ベストショット	設定を変えながら、4枚の静止画を連続して撮影します。	○	×	×	×
フェイスチェイサー	顔にピントや明るさを合わせて撮影します。	○	○*	○*	○*
モノクロ	モノクロ(白黒)撮影ができます。	○	○	○	○
セピア	色調をセピアカラーにした撮影ができます。	○	○	○	○
コントラスト	画像の明暗を強調します。	○	○	○	○
ビビッド	画像の彩度を強調します。	○	○	○	○

○：設定できます。　×：設定できません。
＊：記録中は無効です。

3 [SET]ボタンを押す

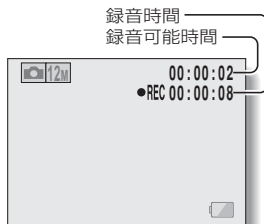
- シーン機能を設定しました。
- 撮影画面に戻ります。
- シーン機能の設定はモニターに出ます。

シーン機能の設定
（AUTO は出ません）

音声付き静止画撮影をする

シーン機能の音声付き静止画 [icon] では、撮影した静止画に最大約10 秒間の音声を付けることができます。この音声を「音声メモ」といいます。

1 シーン機能を選ぶ画面[P42]で [icon] を選び[SET]ボタンを押す

2 シャッターボタンを押して、撮影してから、マイクに向かってしゃべる

- 録音中は、マイクを指などでふさがないように注意してください。
- 録音を開始します。録音中はモニターに録音時間と録音可能時間が出ます。
- 音声メモは、最大約10秒間録音できます。
- 10秒以内に録音を終わる場合は、シャッターボタンを押してください。

ベストショット撮影のしかた

1 1枚撮影モードにしてシーン機能を設定する画面[P42]で 👥 を選び、[SET]ボタンを押す

2 シャッターボタンを押す

- 設定を変えながら、4枚の静止画を連続して撮影します。
- 撮影後、撮影した4枚の静止画がモニターに出ます。

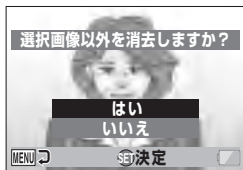
<4枚とも保存する場合は>

- 撮影した4枚の画像を表示している状態で、[MENU]ボタンを押してください。

3 方向ボタンを押して、保存する画像にオレンジ色の枠を合わせて選ぶ

- [SET]ボタンを押すと、選んだ画像を大きく表示することができます。
- 大きく表示した状態で、方向ボタンの[◄]/[►]を押すと、前後の画像を表示することができます。
- [MENU]ボタンを押すと、操作 **2** の画面に戻ります。

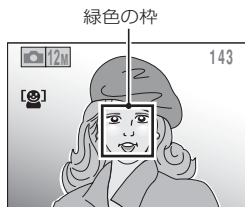
4 保存する画像を大きく表示し、「はい」を選んで[SET]ボタンを押す

- 表示中の画像を保存し、残りの画像は消去します。

フェイスチェイサー撮影のしかた

顔の部分が最適な状態で撮影できるよう、カメラが自動的にピントや露出を合わせます。

1 シーン機能を設定する画面[P42]で[顔]を選び、[SET]ボタンを押す

2 レンズを被写体に向ける

- カメラが顔を検出し、検出すると緑色の枠が出ます。
- この時、シャッターボタンに触れないでください。オートフォーカスが働くと、顔を検出することができません。

3 フォーカスロック[P27]する

- 顔にピントと露出が合います。
- 顔にピントが合うと、緑色の枠がオレンジ色に変わります。

4 シャッターボタンを押す

- 撮影します。

注意!

- デジタルズームは使用できません。
- ズーム動作中は、顔を検出することができません。
- モニターに映る顔が小さかったり暗かったりすると、顔を検出できない場合があります。

フェイスチェイサー撮影した画像は

- 再生画面でズームアップすると、撮影時に二重枠を合わせた顔を中心に拡大します。

シーン機能を使う（つづき）

スマイルディテクション(笑顔シャッター)撮影のしかた

被写体が笑った瞬間を撮影します。

通常撮影する場合

1 **シーン機能を設定する画面[P42]で [☻] を選び、[SET] ボタンを押す**

2 **レンズを被写体に向ける**

- カメラが顔を検出し、検出すると緑色の枠が出て、笑顔になると自動的に撮影します。

撮りたい人が写る範囲を選択する場合

複数の顔の中から対象になる顔がある範囲を選び、その人が笑顔になった瞬間を撮影することができます。

1 **シーン機能を設定する画面[P42]で [☻] を選び、[SET]ボタンを押す**

2 **レンズを被写体に向ける**

3 **[SET]ボタンを押す**

- オレンジ色の枠が出て、撮りたい人の顔がある範囲を選ぶ画面になります。

4 方向ボタンを押して、撮りたい人の顔がある範囲(オレンジ色の枠)を選ぶ

5 [SET]ボタンを押す

- オレンジ色の枠が黄色の枠に変わり、笑顔を検出する範囲を確定します。
- 目的の顔にピントと露出が合います。
- ピントが合うと、緑色の枠が二重に変わります。
- 選んだ範囲の被写体が笑顔になると、自動的に撮影します。

笑顔を検出できない？

- ズーム動作中は、笑顔を検出することができません。
- モニターに映る顔が小さかったり暗かったりすると、笑顔を検出できない場合があります。

笑顔を検出しやすくするために

- なるべく顔を正面に向け、歯を見せて笑うと、検出しやすくなります。

セルフタイマーが使えない？

- スマイルディテクション(笑顔シャッター)撮影にセルフタイマーは使えません。

スマイルディテクション(笑顔シャッター)撮影を解除するには？

- 他のシーン機能に設定してください。

その他の撮影機能

ズーム撮影をする

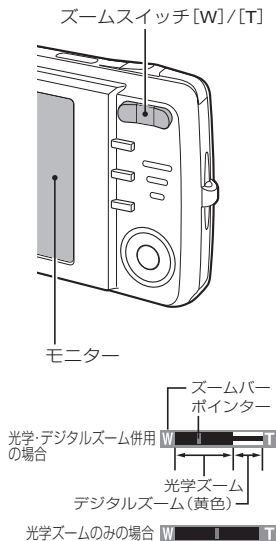
ズーム機能には光学ズームとデジタルズームがあります。

1 撮影モードにし[P22]、被写体にレンズを向ける

2 ズームスイッチを押して、構図を決める

[T]：望遠画面になります。

[W]：広角画面になります。

- ズーム動作に入ると、モニターにズームバーが出ます。
- 光学ズームが最大倍率になると、ズーム動作がいったん止まります。再度ズームスイッチの[T]を押すと、デジタルズームに切り替わり、ズーム動作が再開します。

3 撮影する

デジタルズームが使えない？

- シーン機能をフェイスチェイサー[icon]、スマイルディテクション(笑顔シャッター)[icon]、ポートレートモード[icon]に設定している、またはフォーカス方式をAFシーカー[AF icon]に設定していると、デジタルズームは使えません。

光学ズームが使えない？

- フォーカスレンジをパンPFに設定しているまたは、動画クリップ録画中は光学ズームは使えません。

フラッシュを設定する

フラッシュは暗い場所での撮影だけでなく、被写体が影になっている時や逆光の場合などでも役に立ちます。
フラッシュには、4 つの動作(オート / 強制発光 / 発光禁止 / 赤目軽減)があります。状況に応じて使い分けてください。フラッシュを使って撮影できるのは 1 枚撮影のみです。

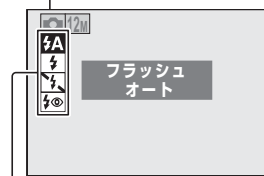
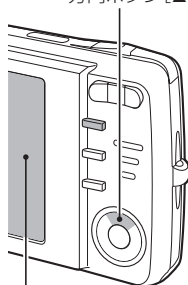
1 1 枚撮影モードにし[P23]、方向ボタンの[▲](⚡)を押す

- フラッシュメニューが出ます。

⚡A：被写体の明るさを判断し、必要な場合は自動的にフラッシュが発光します。また、逆光で画面中央が極端に暗い場合は逆光と判断し、発光します(オート)。

⚡：被写体の明るさに関わらずフラッシュが発光します。逆光などで被写体が影になっていたり、蛍光灯などの照明で撮影する時に使います(強制発光)。

(発光禁止アイコン)：暗い場所でもフラッシュは発光しません。フラッシュが使えない場所や、夜景を撮影する時などに使います(発光禁止)。

⚡◎：被写体の明るさを判断し、必要な場合は自動的にフラッシュが予備発光した後に正式発光します。この時、人物の目が赤く写る現象(赤目現象)を軽減します(赤目軽減)。

2 方向ボタンの[▲]/[▼]を押して、フラッシュ動作を選び、[SET]ボタンを押す

3 シャッターボタンを押して撮影する

● 設定したフラッシュ動作で撮影します

オートの時は

● フラッシュの設定を示すアイコン[⚡A]は、撮影画面に出ません。

オートまたは赤目軽減の時は

● 撮影でフラッシュが必要な場合は、シャッターボタンを押した時に[⚡A]または[⚡◉]アイコンがモニターに出て、フラッシュの発光をお知らせします。

その他の撮影機能（つづき）

セルフタイマーを設定する

1 枚撮影モードでは、セルフタイマーを使った撮影ができます。

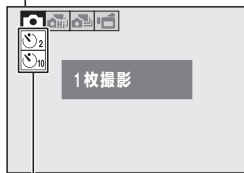
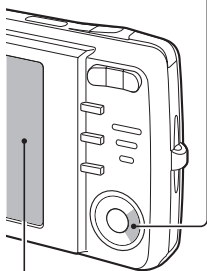
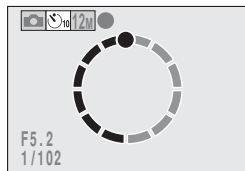
1 **1 枚撮影モードにし[P23]、方向ボタンの[▶]（ ）を押す**

- セルフタイマーメニューが出ます。

：シャッターを押した2秒後にシャッターを切ります。

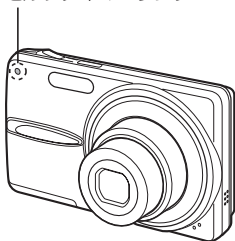
：シャッターを押した10秒後にシャッターを切ります。

2 **方向ボタンの[▲]/[▼]を押してセルフタイマーの設定を選び、[SET]ボタンを押す**

- セルフタイマーを設定し、撮影画面に戻ります。

- モニターには、シャッターが切れるまでのタイミングを表示します。

セルフタイマー撮影を中断/中止するには

- セルフタイマー撮影を中断する時は、シャッターが切れる前に、もう一度シャッターボタンを押します。再度セルフタイマー撮影をする時は、シャッターボタンを押します。
- セルフタイマー撮影を中止する時は、セルフタイマーを使わない設定にしてください。
- セルフタイマー撮影が終わると、セルフタイマーを使わない設定になります。

アイコンを選んだ場合は

- シャッターボタンを押すとセルフタイマーランプが約10秒間点滅した後、撮影を開始します。
- 撮影を開始する約3秒前になると、セルフタイマーランプの点滅が速くなります。

フォーカスレンジを設定する

1 撮影モードにし[P22]、方向ボタンの[▼]( )を押す

- フォーカスレンジメニューが出ます。

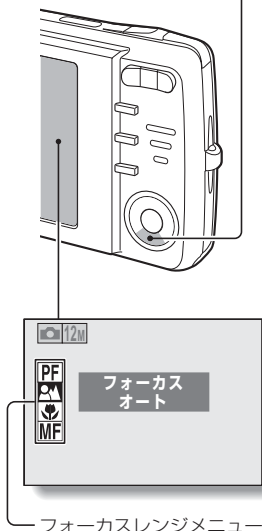
PF：以下の範囲でピントを合わせます(パン)。

＜静止画撮影＞
絞り値最大時：2.5m〜∞
絞り値最小時：2m〜∞

＜動画クリップ撮影＞
Wide端：
絞り値最大時：80cm〜∞
絞り値最小時：52cm〜∞
Tele端：
絞り値最大時：3.3m〜∞
絞り値最小時：2.2m〜∞

：10cm(Wide端)または60cm(Tele端)〜∞mの範囲で、自動的にピントを合わせます(オート)。

：以下の範囲でピントを合わせます(マクロ)。
Wide端：5cm〜80cm
Tele端：60cm〜80cm

MF：焦点距離を5cmから8mの間で任意に設定でき、∞に設定することもできます(マニュアル)。

2 方向ボタンの[▲]/[▼]を押してフォーカスレンジを選び、[SET]ボタンを押す

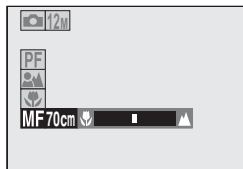
- フォーカスレンジを設定し、撮影画面に戻ります。

ヒント

- 1枚または連写撮影の場合、マクロ[マクロ]に設定するとズームをWide端より1段Tele側にします。また、パン[PF]に設定するとズームをWide端にします。

マニュアルフォーカスの使いかた

1 フォーカスレンジメニューからマニュアル MF を選び、[SET]ボタンを押す

- 焦点距離を設定するバーが出ます。

2 方向ボタンの[◄]/[►]を押して焦点距離を設定し、[SET]ボタンを押す

- 焦点距離を設定し、撮影画面に戻ります。

焦点距離について

- 焦点距離の表示は、レンズ面からの距離です。
- マニュアルフォーカスで設定する焦点距離の数値と実際の被写体までの距離に、多少の相違が出る場合があります。ピント合わせの確認は、モニターに映る画像でお確かめください。

マニュアルフォーカス使用時のズーム動作について

- 焦点距離を50cm以下に設定すると、ズーム位置は焦点距離に適合した最大の位置になります。
- 焦点距離を50cm以下に設定している場合、ズームはピントが合う範囲でのみ動作します。

メニューを出す

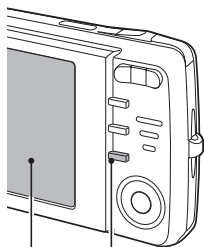
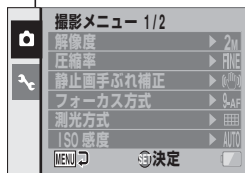
カメラの細かな設定は、メニューから行います。

メニューの出しかた

1 電源を入れ、撮影または再生モードにする

● 撮影メニューを出す時は撮影モード、再生メニューを出す時は再生モードにしてください。

2 [MENU]ボタンを押す

● 操作 1 で設定したモードのメニューが出ます。

メニューを消す

メニューは、[MENU] ボタンを押すと消えます。

メニューを出す（つづき）

メニューの操作方法

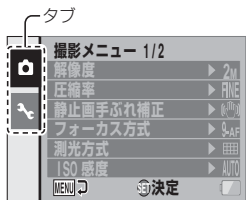
設定する項目を方向ボタンで選び、[SET] ボタンを押すと設定画面が出ます。

1 メニューを出す[P58]

2 📷 または ▶ タブを選ぶ

[撮影メニューを出す]：
📷 タブを選ぶ

[再生メニューを出す]：
▶ タブを選ぶ

[オプションメニューを出す]：
🔧 タブを選ぶ

<例：撮影モードの場合>

3 方向ボタンの[▶]を押す

4 方向ボタンの[▲]または[▼]を押して、設定する項目を選ぶ

5 [SET]ボタンを押す

- 設定画面が出ます。
- 方向ボタンの[▲]または[▼]を押して設定を選び、[SET]ボタンを押すと、設定を完了します。
- [MENU]ボタンを押すと、メニューが消えます。

<例：[解像度]を選んだ場合>

仕　様

カメラの仕様

記録画像ファイルフォーマット	**静止画像：** JPEG形式 （DCF、DPOF、Exif Ver2.2準拠） （注）DCFは（社）電子情報技術産業協会（JEITA）で主として、DSC等の画像ファイル等を、関連機器間で簡便に利用しあえる環境を整えることを目的に標準化された規格「Design rule for Camera File system」の略称です。ただし、「DCF規格」は、機器間の完全な互換性を保証するものではありません。 **動画クリップ：** QuickTime Movie（Photo-JPEG） **音声：** WAVE（モノラル）
記録媒体	内蔵メモリー：約50MB 外部メモリー：SDメモリーカード（32GB SDHCメモリーカードに対応）
カメラ部有効画素数	約1,210万画素
撮像素子	1/2.3型CCD、総画素数：約1,250万画素、インターレーススキャン、原色フィルター
記録画素数	**<静止画撮影>** 12M：4,000 × 3,000 ピクセル 9M：4,000 × 2,256 ピクセル（16：9） 6M：2,816 × 2,112 ピクセル 4M：2,288 × 1,712 ピクセル 2M：1,600 × 1,200 ピクセル 0.3M：640 × 480 ピクセル **<動画クリップ撮影>** TV：640×480ピクセル、30 フレーム / 秒 WEB：320×240ピクセル、15フレーム / 秒
ホワイトバランス	フルオート TTL、マニュアル設定可能

仕　様(つづき)

レンズ	光学3.0倍ズームレンズ	f＝6.3mm〜18.9mm （35mmフィルムカメラ換算：35mm〜105mm） オートフォーカス、5群6枚(非球面4面)
絞り	開放 F=3.1(Wide)〜5.9(Tele)	
露出制御方式	プログラムAE 撮影設定メニューによる露出補正機能あり （0±1.8EV　0.3EVステップ）	
測光方式	多分割測光、中央重点、スポット測光	
撮影範囲	通常撮影　：10cm〜∞(Wide)、60cm〜∞(Tele) マクロ撮影：5cm〜80cm(Wide)、 60cm〜80cm(Tele)	
デジタルズーム	撮影時：1〜4倍 再生時：1〜62.5倍(解像度により異なる)	
シャッタースピード	1枚撮影モード：1/2〜1/1,500秒 （最長約2秒：シーン機能花火 [花火] 時など） （フラッシュ発光時：1/30〜1/1,500秒） 連写撮影モード：1/2〜1/1,500秒 動画クリップ撮影モード：1/30〜1/2,500秒	
感度(標準出力感度)	1枚撮影モード、連写撮影モード(標準出力感度)： オート(ISO64〜400)/ISO64、100、200、400、800、1,600、3,200、6,400(撮影設定メニューによる切り替え) 動画クリップ撮影モード： オート(ISO384〜2,400)/ISO384、600、1,200、2,400(撮影設定メニューによる切り替え) *感度はISO(ISO12232：2006)準拠の測定方法による。	

モニター	2.7型TFTカラー液晶 約23万画素 （視野率約 100%） 明るさ調整：5 段階	
フラッシュ撮影範囲	GN=5.2 {約60cm～3.3m（Wide） 約60cm～1.7m（Tele）	
フラッシュモード	自動発光、強制発光、発光禁止、赤目軽減	
フォーカス	TTL方式AF（9点測距/スポット/AFシーカー）・マニュアルフォーカス（14段階）	
セルフタイマー	作動時間約2秒/10秒	
使用環境	温度	0～40℃（動作時）、－20～60℃（保管時）
	湿度	30～90%（動作時、結露しないこと） 10～90%（保管時、結露しないこと）
電源	リチウムイオン電池（DB-L80）×1本	
大きさ（最薄部：グリップおよびレンズ突起を含まず）		92.8（幅）× 55.2（高さ）× 17.0（奥行き）mm
質量		約97g（本体のみ（電池・カード別）） 約114g（電池・カード込み）

カメラ各端子の仕様

[USB/AV]（通信/音声・映像出力）端子	専用ジャック	
	音声出力	180mVrms（－12dBs）・2.2kΩ以下・モノラル
	映像出力	1.0Vp-p・75Ω不平衡・同期負・コンポジットビデオ、日米標準 NTSC カラー TV 方式 /PAL カラー TV 方式（オプションメニューによる切り替え）
	USB	USB 2.0 Full-Speed PC カメラ：USB ビデオクラス

電池寿命

撮影可能枚数	170 枚：CIPA 規格によります（東芝製 128MB SD メモリーカード使用時）
再生可能時間	310 分：液晶モニターを点灯し、連続して再生した場合

- 十分に充電した付属の電池を使い、常温（25℃）で当社測定条件のもと、電池が切れるまでのおおよその値です。
- 電池の状態や測定条件により、使用可能時間が変わります。特に10℃以下の低温状態で使用したときは、電池の特性により使用可能時間が極端に短くなります。

撮影可能枚数/撮影可能時間/録音可能時間

撮影モード設定	解像度設定	圧縮率設定	内蔵メモリー使用時	SDメモリーカードの種類	
				2GB使用時	8GB使用時
1枚撮影モード 連写撮影モード	12M	FINE	12枚	502枚	1,960枚
		NORM	19枚	754枚	2,950枚
	9M	FINE	17枚	665枚	2,600枚
		NORM	25枚	997枚	3,900枚
	6M	FINE	26枚	1,010枚	3,970枚
		NORM	38枚	1,500枚	5,900枚
	4M	FINE	39枚	1,500枚	5,900枚
		NORM	58枚	2,200枚	8,650枚
	2M	FINE	79枚	3,090枚	12,100枚
		NORM	118枚	4,410枚	17,300枚
	0.3M	FINE	399枚	15,400枚	60,500枚
		NORM	532枚	20,600枚	80,700枚
動画クリップ撮影モード	TV	―	28秒	18分10秒	1時間11分
	WEB	―	2分30秒	1時間36分	6時間19分
音声記録モード	―	―	26分30秒	17時間10分	67時間10分

- 音声の連続記録時間は、最大9時間です。
- 8GBのカードを使用し、動画クリップ撮影をしている場合、記録中のファイルのサイズが約4GBになると、撮影を終了します。
- Sandisk製SDメモリーカードを使用した値です。
- 同じ容量のカードでも、メーカーや種類、撮影条件が違うと撮影枚数など数値が異なることがあります。
- 連続撮影(録音)時間は、カードの種類・容量・性能などによって、異なります。

仕　様（つづき）

付属の充電器の仕様

品番		VAR-L80
電源		AC100-240V・50/60Hz、5W
定格出力		DC4.2V、550mA
適合電池		付属または別売のリチウムイオン電池（DB-L80）
使用環境	温度	0～40℃（充電時）、－20～60℃（保管時）
	湿度	20～80%（結露しないこと）
大きさ		84（幅）×22.5（高さ）×50.5（奥行き）mm
質量		約49g（電源コードを含まず）

- 付属の充電器を海外でお使いになる場合は、電源コードをご使用になる地域や国にあったものに取り替える必要があります。詳しくは、お買い上げ販売店または、もよりの「お客さまご相談窓口[P68]」にお問い合わせください。

付属のリチウムイオン電池の仕様

品番		DB-L80
電圧		3.7V
容量		700mAh
使用環境	温度	0～40℃（機器使用時） －10～30℃（保管時）
	湿度	10～90%（結露しないこと）
大きさ		39.2（幅）×5.9（高さ）×31.4（奥行き）mm
質量		約15g

その他

電波障害自主規制について

- この製品は、情報処理装置等電波障害自主規制協議会(VCCI)の基準に基づくクラスB情報技術装置です。この製品は、家庭環境で使用することを目的としていますが、この製品がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用すると、受信障害を引き起こすことがあります。
- 取扱説明書に従って正しい取り扱いをしてください。
- 本機の接続において指定ケーブルを使用しない場合、VCCIルールの限界値を超えることが考えられますので、必ず指定されたケーブルを使用してください。

ご注意

- この説明書の内容の一部、または全部を無断転載することは固くお断りします。
- この説明書に掲載している写真やイラストは、説明のため実物と多少異なりますが、ご了承ください。また内容については、将来予告なしに変更することがあります。
- 本製品は日本国外では販売せず、保証書は日本国内でのみ有効です。
- 付属品は、日本仕様です。

大切な撮影をする前には試し撮りをしてください

- 本製品がお客さまにより不適当に使用されたり、この説明書の内容に従わずに取り扱われたり、または当社および当社指定外の第三者により、修理・変更されたこと等に起因して生じた障害等につきましては、責任を負いかねますのでご了承ください。
- 当社純正品および、当社品質認定品以外のオプションまたは消耗品を装着してトラブルが発生した場合には、責任を負いかねますのでご了承ください。
- 本製品の故障、修理その他の理由により生じたデータの消失による、損害および逸失利益等に関し、当社では一切その責任を負いかねますのでご了承ください。
- 運用した結果の影響については、上項にかかわらず責任を負いかねますのでご了承ください。
- 本製品で撮影した画像の質は、フィルム式カメラの写真の質とは異なります。

CD-ROM の使用許諾について

・本CD-ROMを無断で複製することはできません。
・本CD-ROMに収納されているソフトウェアのインストールにあたっては、インストール時に表示されるソフトウェアの使用許諾契約内容を確認の上、同意された内容において使用することができます。
・本CD-ROMで紹介する他社製品およびサービス内容につきましては、供給メーカーにお問い合わせください。

Mac OS、QuickTimeは、米国および他の国々で登録されたApple Inc.の商標です。
MicrosoftおよびWindowsは、米国Microsoft Corporationの米国およびその他の国における登録商標です。
IntelおよびPentiumは、米国インテル社の登録商標です。
その他の社名、および商品名は、それぞれ各社の商標または登録商標です。

本文中では、Microsoft® Windows® 2000 operating system日本語版、Microsoft® Windows® XP Operating system日本語版、Microsoft® Windows® Vista Operating system日本語版、Microsoft® Windows® 7 Operating system日本語版を単にWindowsと表記しています。

SDHCロゴは商標です。

その他の社名、および商品名は、それぞれ各社の商標または登録商標です。

お客さまご相談窓口

■まずはお買い上げの販売店へ…

家電商品の修理のご依頼やご相談は、お買い上げの販売店へお申し出ください。

転居や贈答品でお困りの場合は、下記の相談窓口にお問い合わせください。

家電商品についての全般的なご相談　三洋電機株式会社 お客さまセンター

受付時間：(365日) 9：00～18：30

総合相談窓口　☎ **050－3116－3434**

※上記番号をご利用できない場合は ☎ **大阪(06)－6994－9570** へおかけください。

※郵便またはFAXでご相談される場合

三洋電機株式会社 お客さまセンター

〒570-8677　大阪府守口市京阪本通2ー5ー5

FAX：大阪(06)6994ー9510

家電商品の修理サービスについてのご相談　三洋電機サービス株式会社

受付時間：月曜日 ～ 金曜日　9：00～18：30

(7～8月)　8：45～19：30

土曜・日曜・祝日・当社休日　9：00～17：30

修理相談窓口

◆ 東京コールセンター

(050-がご利用できない場合は、東京03-5302-3401へおかけください)

地区	電話番号
北海道地区	☎ 050－3116－2333
東北地区	☎ 050－3116－2444
関東・甲信越地区	☎ 050－3116－2222

◆ 大阪コールセンター
（050-がご利用できない場合は、大阪06-4250-8400へおかけください）

地区		電話番号
近畿地区		☎ 050－3116－2555
中部・北陸地区	北陸	☎ 050－3116－2555
	中部	☎ 050－3116－2666 沼津地区は、 ☎ 050－3116－2222
中国・四国地区	中国	☎ 050－3116－2777
	四国	☎ 050－3116－2555
九州地区		☎ 050－3116－2888

地区	電話番号
沖縄地区	☎ 098－944－5018

（※）沖縄地区の受付時間：月曜日～土曜日　9:00～17:30
（日曜、祝日および当社休日を除く）

持込み修理および部品についてのご相談　三洋電機サービス株式会社

受付時間：月曜日～土曜日 9:00～17:30（日曜、祝日、当社休日を除く）

家電商品の持込み修理および部品のご相談については、各地区拠点（サービスセンター、サービスステーション）で承っております。最寄の拠点は別記一覧もしくは弊社ホームページでご確認ください。

☆上記のご相談窓口の名称、電話番号は変更することがありますのでご了承ください。

お客さまご相談窓口におけるお客さまの個人情報のお取扱いについて

お客さまご相談窓口でお受けした、お客さまのお名前、ご住所、お電話番号などの個人情報は適切に管理いたします。
また、お客さまの同意がない限り、業務委託の場合および法令に基づき必要と判断される場合を除き第三者への開示は行いません。なお、お客さまが当社にお電話でご相談、ご連絡いただいた場合には、お客さまのお申し出を正確に把握し、適切に対応するために、通話内容を録音させていただくことがあります。

＜利用目的＞

- お客さまご相談窓口でお受けした個人情報は、商品・サービスに関わるご相談・お問い合せおよび修理の対応のみを目的として用います。なお、この目的のために三洋電機株式会社および関係会社で上記個人情報を利用することがあります。

＜業務委託の場合＞

- 上記目的の範囲内で対応業務を委託する場合、委託先に対しては当社と同等の個人情報保護を行わせると共に、適切な管理･監督をいたします。

個人情報のお取り扱いについての詳細は
ホームページ http://jp.sanyo.comをご覧ください。

お客さまご相談窓口（つづき）

持込み修理および部品についてのご相談　三洋電機サービス株式会社

北海道地区

北海道

札幌サービスセンター
☎(011)831−9201
〒003-0013 札幌市白石区中央三条4−1−36

旭川サービスステーション
☎(0166)22−2421
〒070-0073 旭川市曙北三条7−3−3

函館サービスステーション
☎(0138)48−8301
〒041-0824 函館市西桔梗町589−295

釧路サービスステーション
☎(0154)22−1576
〒085-0035 釧路市共栄大通3−1−6

北見サービスステーション
☎(0157)23−4871
〒090-0037 北見市山下町4−7−14

東北地区

青森県

青森サービスステーション
☎(017)729−3401
〒030-0141 青森市大字上野字山辺29−5

岩手県

盛岡サービスセンター
☎(019)623−1600
〒020-0824 盛岡市東安庭2−10−6

宮城県

仙台サービスセンター
☎(022)287−8351
〒984-0032 仙台市若林区荒井字丑ノ頭43−1

秋田県

秋田サービスステーション
☎(018)862−6551
〒011-0901 秋田市寺内イサノ93−1

東北地区

山形県

山形サービスステーション
☎(023)641−1769
〒990-2331 山形市飯田西4−5−35

福島県

郡山サービスステーション
☎(024)945−6793
〒963-0107 郡山市安積3−120

関東・甲信越地区

茨城県

水戸サービスステーション
☎(029)251−4125
〒311-4152 水戸市河和田3−2386−1

つくばサービスステーション
☎(029)864−4751
〒300-3261 つくば市花畑2−15−3

栃木県

宇都宮サービスステーション
☎(028)684−2551
〒321-0151 宇都宮市西川田町53−1

群馬県

高崎サービスステーション
☎(027)362−1151
〒370-0004 高崎市井野町338−1

大泉サービスステーション
☎(0276)63−4401
〒370-0524 邑楽郡大泉町古海541-9

埼玉県

さいたまサービスセンター
☎(048)778−3095
〒362-0025 上尾市上尾下780−1

坂戸サービスステーション
☎(049)284−8900
〒350-0214 坂戸市千代田5−3−17

千葉県

千葉サービスセンター
☎(043)208−3800
〒260-0842 千葉市中央区南町3−7−15

関東・甲信越地区	関東・甲信越地区

関東・甲信越地区

鎌ケ谷サービスステーション
☎(047)441−0111
〒273-0105 鎌ケ谷市鎌ケ谷7−6−59

東京都

武蔵野サービスセンター
☎(042)364−7721
〒183-0033 府中市分梅町5−9−1

城東サービスステーション
☎(03)5697−8160
〒120-0005 足立区綾瀬7−22−15 綾瀬7丁目ビル

城北サービスステーション
☎(03)5914−3413
〒174-0051 板橋区小豆沢(アズサワ) 1−23−10

城西サービスステーション
☎(03)5347−0761
〒167-0032 杉並区天沼3−12−12 テック杉並

相模原サービスステーション
☎(042)788−2760
〒194-0012 町田市金森851−3

神奈川県

横浜サービスセンター
☎(045)827−2831
〒244-0806 横浜市戸塚区上品濃9−14

京浜サービスステーション
☎(044)740−3530
〒211-0041 川崎市中原区下小田中 5−11−21

平塚サービスステーション
☎(0463)55−3926
〒254-0014 平塚市四之宮3−20−60

新潟県

新潟サービスセンター
☎(025)285−2431
〒950−0951 新潟市中央区鳥屋野 187−19

長岡サービスステーション
☎(0258)46−8065
〒940-2127 長岡市新産2−8−6

関東・甲信越地区

山梨県

甲府サービスステーション
☎(055)226−2561
〒400-0035 甲府市飯田4−8−23

中部・北陸地区

富山県

富山サービスステーション
☎(076)422−7020
〒939-8211 富山市二口町1−13−8

石川県

金沢サービスセンター
☎(076)235−3310
〒920-0025 金沢市駅西本町6−6−13

福井県

福井サービスステーション
☎(0776)53−7134
〒910-0834 福井市丸山1−1002

長野県

松本サービスステーション
☎(0263)40−3411
〒390-0852 松本市島立1064−1

岐阜県

岐阜サービスステーション
☎(058)246−3417
〒501-6006 岐阜県羽島郡岐南町伏屋 1−35

静岡県

静岡サービスセンター
☎(054)236−0691
〒422-8034 静岡市駿河区高松 2−26−10

沼津サービスステーション
☎(055)935−0501
〒410-0822 沼津市下香貫七面 1152−2

浜松サービスステーション
☎(053)461−8685
〒430-0812 浜松市南区本郷町123

お客さまご相談窓口（つづき）

中部・北陸地区

愛知県

名古屋サービスセンター
☎(052)485−3620
〒453-0816 名古屋市中村区京田町2−1

岡崎サービスステーション
☎(0564)23−3418
〒444-0009 岡崎市小呂町字2−30

三重県

津サービスステーション
☎(059)236−5195
〒514-0111 津市一身田平野285−2

近畿地区

滋賀県

滋賀サービスステーション
☎(077)514−2221
〒524-0021 守山市吉身4−1−24
南井産業第3ビルB棟

京都府

京都サービスセンター
☎(075)672−0877
〒601-8135 京都市南区上鳥羽石橋町8
NTTコミュニケーションズ
京都南ビル

福知山サービスステーション
☎(0773)24−3405
〒620-0062 福知山市和久市町290
和久市岩堀ビル２階

大阪府

大阪サービスセンター
☎(06)6992−6235
〒570-0086 守口市竹町4−13

大阪南サービスステーション
☎(06)6761−4600
〒543-0001 大阪市天王寺区上本町5−1−14 三洋ビル2F

近畿地区

大阪東サービスステーション
☎(072)965−1811
〒578-0903 東大阪市今米2−3−29

阪和サービスステーション
☎(072)258−5001
〒591-8025 堺市北区長曽根町3068-5

兵庫県

神戸サービスセンター
☎(078)651−3951
〒652-0813 神戸市兵庫区兵庫町2−2−18

阪神サービスステーション
☎(06)6432−3401
〒661-0026 尼崎市水堂町4−17−6

姫路サービスステーション
☎(079)282−7892
〒670-0943 姫路市市之郷町1−9

淡路サービスステーション
☎(0799)42−6015
〒656-0478 南あわじ市市福永536−1

奈良県

奈良サービスステーション
☎(0744)22−7888
〒634-0817 橿原市寺田町113−1

和歌山県

和歌山サービスステーション
☎(073)473−7112
〒640-8301 和歌山市岩橋1636−1

中国地区

鳥取県

鳥取サービスステーション
☎(0857)24−2930
〒680-0843 鳥取市南吉方3−107

島根県

松江サービスステーション
☎(0852)23−1183
〒690-0044 松江市浜乃木2−15−3

中　国　地　区

岡山県
岡山サービスセンター
☎(086)245ー1634
〒700-0973　岡山市下中野703ー101

広島県
広島サービスセンター
☎(082)279ー0170
〒733-0833　広島市西区商工センター4ー9ー9　協和ビル

福山サービスステーション
☎(084)954ー4101
〒721-0952　福山市曙町4ー22ー10

山口県
山口サービスステーション
☎(083)973ー3391
〒754-0024　山口市小郡若草町2ー6

四　国　地　区

徳島県
徳島サービスステーション
☎(088)699ー4131
〒771-0219　徳島県板野郡松茂町笹木野字八北開拓189ー1

香川県
高松サービスセンター
☎(087)843ー1840
〒761-0101　高松市春日町字片田1657ー1

愛媛県
松山サービスステーション
☎(089)979ー3486
〒799-2655　松山市馬木町2057

四国中央サービスステーション
☎(0896)23ー3416
〒799-0404　四国中央市三島宮川2ー732ー4

高知県
高知サービスステーション
☎(088)885ー3411
〒781-8121　高知市葛島2ー8ー9

九　州　地　区

福岡県
福岡サービスセンター
☎(092)441ー2541
〒812-0016　福岡市博多区博多駅南4ー6ー23

北九州サービスステーション
☎(093)521ー5286
〒802-0004　北九州市小倉北区鍛冶町2ー4ー7

久留米サービスステーション
☎(0942)37ー3934
〒830-0038　久留米市西町105-18

長崎県
長崎サービスステーション
☎(095)813ー3545
〒851-0101　長崎市古賀町1006ー5

佐世保サービスステーション
☎(0956)31ー7635
〒857-1162　佐世保市卸本町17ー1

熊本県
熊本サービスセンター
☎(096)388ー3434
〒861-8045　熊本市小山3ー2ー11　熊本トラックターミナル内

大分県
大分サービスステーション
☎(097)543ー3454
〒870-0829　大分市椎迫5ー6

宮崎県
宮崎サービスステーション
☎(0985)29ー3441
〒880-0022　宮崎市大橋3ー224

鹿児島県
鹿児島サービスステーション
☎(099)251ー4615
〒890-0068　鹿児島市東郡元町12ー14

沖　縄　地　区（※）

沖縄県
沖縄三洋販売株式会社 サービス部
☎(098)944ー5018
〒903-0103　沖縄県中頭郡西原町小那覇1303

☆住所・電話番号は、ご通知なしに変更することがありますので、ご了承ください。

アフターサービスについて

■この商品には保証書(本書裏表紙)がついています。
保証書の所定事項の記入および記載内容を確認いただき、大切に保管してください。

保証期間はお買い上げ日から1年間です

- 保証書の記載内容により、お買い上げ販売店が修理いたします。その他の詳細は裏表紙と78ページ「無料修理規定」をご覧ください。
- 保証期間経過後の修理については、お買い上げ販売店にご相談ください。修理によって機能が維持できる場合は、お客さまのご要望により、有料修理いたします。
- 当社は、このカメラの補修用性能部品(製品の機能を維持するために必要な部品)を、製造打ち切り後、8年保有しています。
- なお保証期間中の修理など、アフターサービスについてご不明の場合は、お買い上げ販売店へお申し出ください。転居されたり、贈答品などでお困りの場合は、もよりの「お客さまご相談窓口[P68]」にお問い合わせください。

修理を依頼される時は…

下記の事項をお買い上げ販売店に、ご連絡ください。

1. 故障の状況(できるだけくわしく)
2. 品番(DSC-X1250)
3. お買い上げ年月日(保証書に記入)
4. おなまえ、おところ、電話番号

総合相談窓口　受付時間：（365日）9：00〜18：30

修理のご依頼やご相談は、まずはお買い上げ販売店へお申し出ください。
家電製品についての全般的なご相談は下記にお問い合わせください。

☎ 050−3116−3434

※上記番号をご利用できない場合は **☎大阪(06)−6994−9570** におかけください。

※郵便またはFAXでご相談される場合

三洋電機株式会社 お客さまセンター

〒570-8677　大阪府守口市京阪本通2ー5ー5
FAX：大阪(06)ー6994ー9510

修理や部品に関するご相談は、お買い上げ販売店、または三洋電機サービス株式会社の「修理相談窓口**[P68]****」にお問い合わせください。**

この商品に関するご相談は下記にお問い合わせください。

受付時間：月曜日〜金曜日（祝日および当社の休日を除く）

9:00〜12:00、13:30〜17:00

デジタルシステムカンパニー　デジカメお客さま相談係

電話　大東（072)−870−4184（直通）

お客さまメモ

お買い上げの際にご記入ください。お問い合わせなどの時に便利です。

品　　番	DSC-X1250
お買い上げ年月日	年　　月　　日
お買い上げ販売店	電話(　　　)　　—
もよりのお客さまご相談窓口	電話(　　　)　　—

以下の項目をご確認のうえ、お問い合わせください。

お客さまチェックシート		
カードの種類	容量：	
	メーカー名：	
	お買い上げ年月日：　年　月　日	
パソコンのOS	□Windows 2000 □Windows XP □Windows Vista □Windows 7	□Mac OS 9.x □Mac OS X以降

無料修理規定

裏表紙の保証書は、本書記載内容で無料修理を行うことをお約束するものです。
お買い上げの日から保証期間中に、取扱説明書、本体ラベルその他の注意書きに従った正常な使用状態で故障した場合には、本書記載に基づき、お買い上げの販売店が無料修理いたしますので、商品と保証書をご持参のうえ、お買い上げの販売店にご依頼ください。
保証書の★印欄に記載のない場合は無効となりますので必ずご確認ください。
●品番は色記号を省略しています。

1．保証期間内でも次のような場合には有料修理となります。
　イ．使用上の誤り、または改造や不当な修理による故障または破損。
　ロ．お買い上げ後の取付場所の移動、落下、引っ越し、輸送などによる故障または破損。
　ハ．火災・地震・水害・落雷・その他の天災地変ならびに公害や異常電圧、その他の外部要因による故障または損傷。
　ニ．業務用としての使用、車両、船舶への搭載など一般家庭用以外に使用された場合の故障または損傷。
　ホ．保証書の提示がないとき。
　へ．保証書にお買い上げ年月日、お客様名、販売店名の記入がない場合、あるいは字句を書き換えられた場合。
　ト．消耗部品（例えば電池など）の交換。
2．保証期間内でも商品を修理窓口へ送付された場合の送料や出張修理を行った場合の出張料はお客様の負担となります。
3．ご転居の場合は、事前にお買い上げ販売店にご相談ください。
4．ご贈答品などで保証書に記入してあるお買い上げ販売店に修理をご依頼になれない場合には、三洋電機お客さまご相談窓口（68ページ）をご覧のうえ、もよりの窓口にお問い合せください。
5．保証書は日本国内においてのみ有効です。
Effective only in Japan.
6．保証書は再発行いたしませんので、紛失しないよう大切に保管してください。

アフターサービスについて(つづき)

- 裏表紙の保証書は本書に明示した期間、条件のもとにおいて無料修理をお約束するものです。従ってこの保証書によって保証書を発行している者(保証責任者)、およびそれ以外の事業者に対するお客さまの法律上の権利を制限するものではありませんので、保証期間経過後の修理などについてご不明の場合は、お買い上げの販売店または三洋電機お客さまご相談窓口(68ページ)にお問い合わせください。
- 保証期間経過後の修理、補修用性能部品の保有期間について、詳しくは75ページをご覧ください。

●修理メモ